

5/9ポート・ミニHUB CentreCOM RH505E/RH509E ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM RH505E/RH509E(以下RH505E/509Eと略記します)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。
また、お読みになった後も、大切に保管してください。

● 製品概要

RH505E/509Eは、10BASE-Tポートを5/9ポート装備したリピータ(=ハブ)で、SOHO(Small Office/Home Office)のネットワーク構築に最適です。

- 軽量かつコンパクトなボディサイズ
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED表示付き
- IEEE 802.3およびEthernet 2.0に準拠
- 最終ポートはMDI/MDI-Xの切り替え可能
- ポートごとの自動ポート切り離しと再接続機能
- ジャバーロックアップ保護機能
- ツイストペアケーブルの誤配線検出、自動訂正機能
- 机の横など垂直な場所に設置するためのマグネットKit付属

● 同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。
万一、欠品、不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- RH505E/509E(本体)
- ACアダプタ
- ゴム脚(粘着タイプ・4個)
- マグネットKit
- お客さまインフォメーション登録カード
- 製品保証書
- 本ユーザーマニュアル

● 再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時とおなじ梱包箱で再梱包されることが望まれます。
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

● 各部の名称と機能

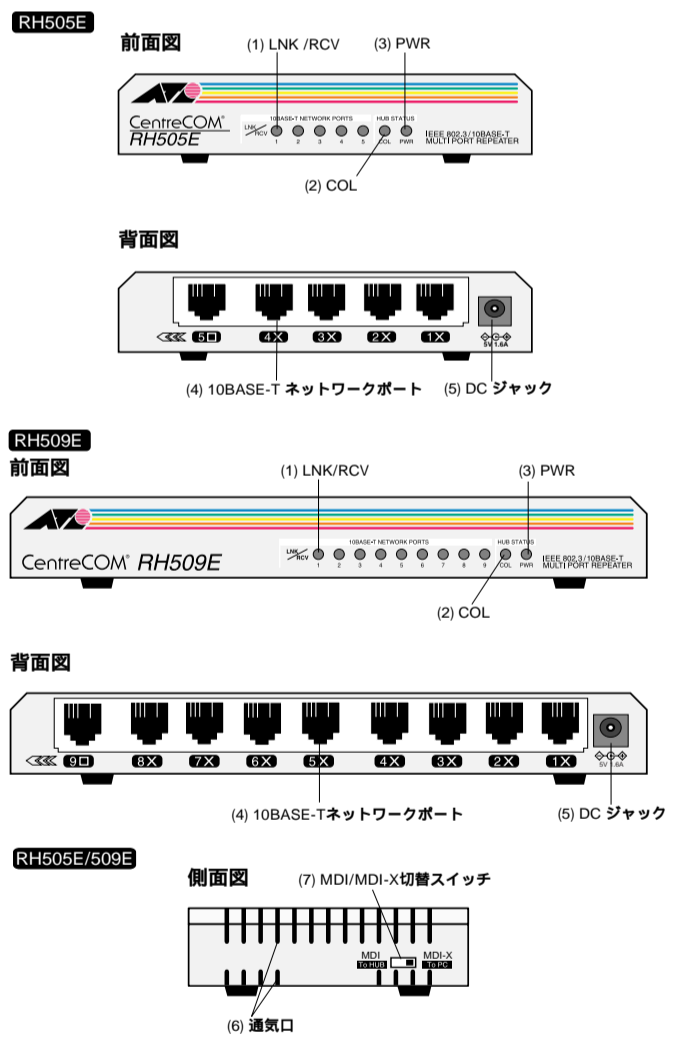


図1 外観図

- (1) LNK/Rcv(緑)**
ポートが正常にリンクされ、相互に通信可能な状態にあるときに点灯します。
また、パケットを受信しているときに点滅します。
このLEDは、各ポートごとに用意されています。
- (2) COL(黄)**
コリジョンが発生しているときに点灯します。
- (3) PWR(緑)**
電源が供給されると点灯します。
本製品は、電源スイッチを持っていません。
- (4) 10BASE-T ネットワークポート**
RJ-45型のモジュラージャックです。
10BASE-TのUTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続します(UTPケーブルの両端に取り付けられたコネクタのことをRJ-45型モジュラープラグと言います)。
また、RH505Eのポート5、RH509Eのポート9はカスケードポートとしても使用できます。
- (5) DC ジャック**
ACアダプタを接続するためのコネクタです。
- (6) 通気口**
本体の両側面にあります。通気口が異物などによってふさがれていると、加熱などによる故障、火災の恐れがあります。

- (7) MDI/MDI-X 切替スイッチ**
RH505Eのポート5、RH509Eのポート9をカスケードポートとして使用するか、通常のハブのポートとして使用するかを選択するスイッチです。
MDI(To HUB)カスケードポートとして使用します。
MDI-X(To PC)通常のハブのUTPポートとして使用します。

● 設置するまえに

本製品を設置する前に、「使用および取り扱い上の注意」(本文書の裏面)を必ずお読みください。

電源
商用100V電源のコンセントを用意してください。コンセント形状は、RH505E/509Eに付属のACアダプタのACプラグに適合するものを使用してください。
必ず、RH505E/509Eに付属のACアダプタを使用し、2ピンのAC100Vコンセントに接続してください。
不適切なACアダプタやコンセントをご使用になりますと故障や火災の原因となります。

ゴム脚の取り付け
本製品を机の上などの水平な場所に置く場合は、必ず付属のゴム脚を本体底面の四隅に貼り付けてください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。
ゴム脚を貼り付ける場合は、貼り付ける部分の汚れをよく拭き取ってから行ってください。
貼り直しは接着力を著しく弱めますので、ご注意ください。

マグネットの取り付け
本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置する場合は、付属品のマグネットKitを使用します。
1. プラスドライバーを用いて機器底面をとめていたネジを取り外します。
注 この時、絶対に上部ケースは外さないでください。本製品内蔵のコンポーネントが静電気放電などによって損傷する可能性があります。
2. 次に、図2のように、外したネジを用いてマグネットを本体に固定します。

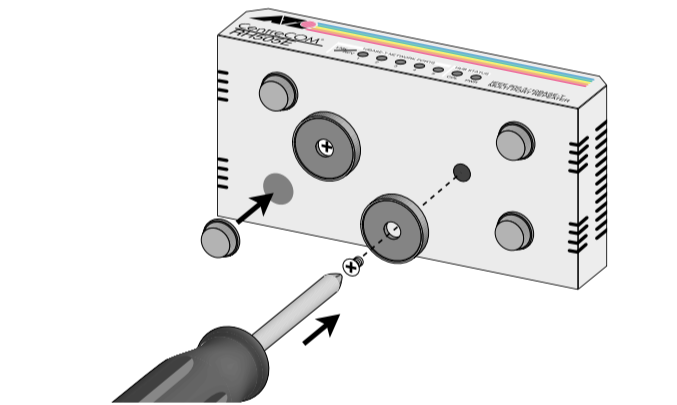


図2 ゴム脚およびマグネットの取り付け

● マグネット使用および取り扱い上の注意

- ⚠ 設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。
- ⚠ 取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。
- ⚠ 機器をマグネットで高所に取り付けしないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。
- ⚠ 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となることがあります。
- ⚠ OAデスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。
- ⚠ マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。
- ⚠ 機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けしないでください。

● 設置・接続のしかた

本製品の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。
また、本製品は屋外ではご使用になれません。

すべてのUTPケーブルが装置間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するUTPケーブルの長さ、また本製品を他のハブやスイッチとカスケード接続するUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。
UTPケーブルは、カテゴリ3以上のストレートタイプを使用してください。

- ACアダプタのDCプラグを本体背面のDCジャックに差し込みます。
- ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込み、本体前面のHUB STATUSのPWR LED(緑)が点灯していることを確認します。
- 本体背面の10BASE-T ネットワークポートのひとつにUTPケーブルを接続します。RH505Eのポート5またはRH509Eのポート9にPCを接続する場合は、MDI/MDI-X切替スイッチをMDI-X(To PC)に設定してください(図3)。ハブやスイッチへの接続については「カスケード接続」の節を参照してください。
- ネットワークに接続する端末(パソコンなど)に10BASE-T ネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。UTPケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートのLNK/Rcv(緑)が点灯します。

● スタンドアロン

本製品は単純なスタンドアロンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

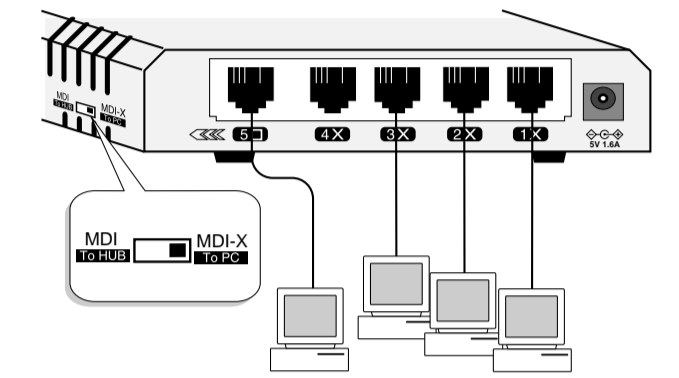


図3 スタンドアロンの接続例

● カスケード接続

RH505Eのポート5またはRH509Eのポート9を使用すれば、クロスタイプのUTPケーブルを使用しなくても、他のハブやスイッチと簡単にカスケード接続することができます。

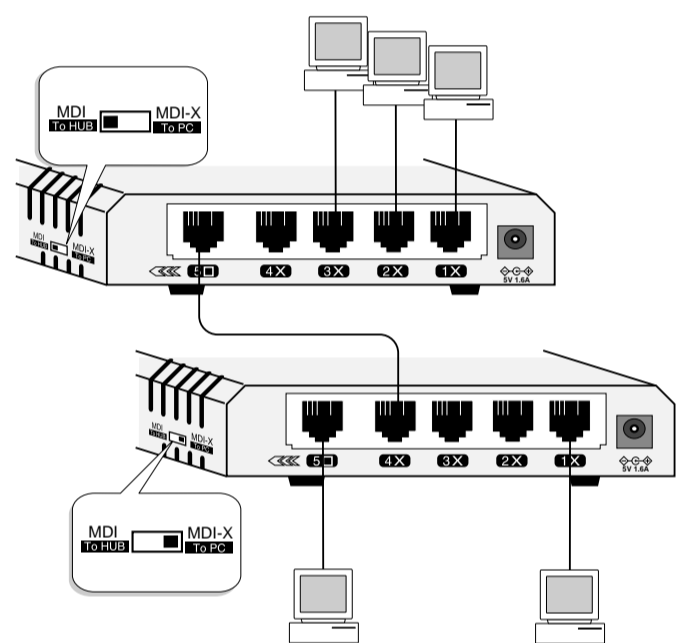


図4 カスケード接続

- RH505Eのポート5またはRH509Eのポート9にUTPケーブル(ストレートタイプ)のモジュラープラグを接続し、MDI/MDI-X切替スイッチをMDI(To HUB)に設定してください。
- UTPケーブルのもう一方の端のモジュラープラグを接続先のハブの通常のポート(MDI-X)に接続します。
接続先のハブのポートがRH505Eのポート5またはRH509Eのポート9である場合、接続先のハブのMDI/MDI-X切替スイッチはMDI-X(To PC)に設定してください。

● カスケード接続の段数の制限

リピータ(=ハブ)は、最大4台までカスケード接続することが許されています(これは通信が正常に行われるようにするためのルールであり、IEEE 802.3によって規定されています)。
図5のように5台以上のハブをカスケード接続しないでください。
ポートの数を増やすためにハブのカスケードを行う場合は、図5のように数珠つなぎにするのではなく、図6のようにスター型の構成にすることをオススメします。

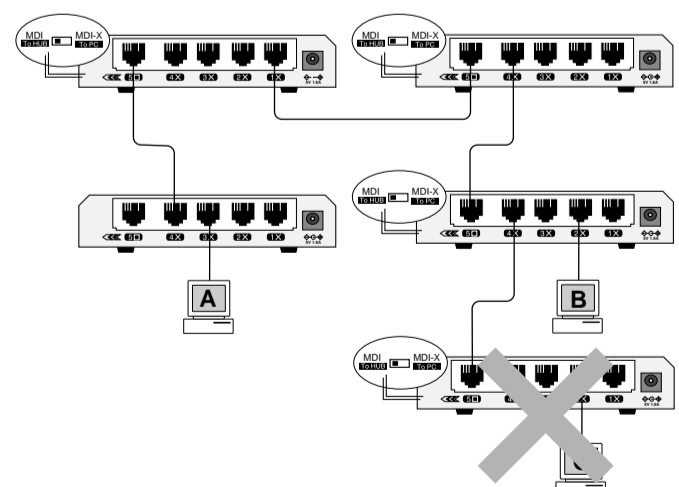


図5 カスケード接続の段数を超えた例

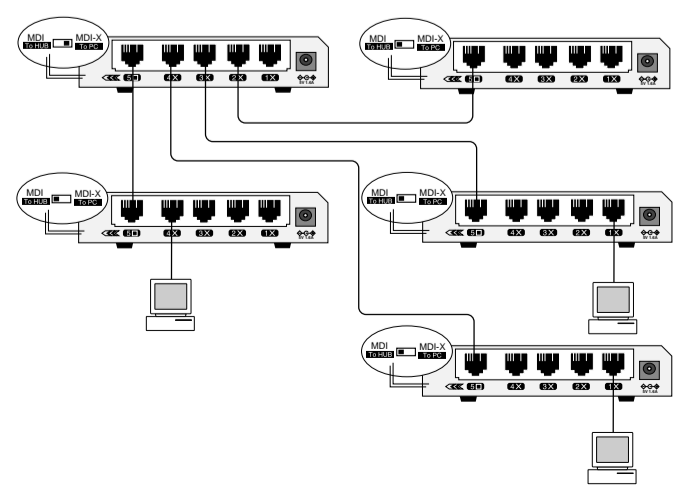


図6 スター型構成にしたカスケード接続

● トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

PWR LEDは点灯していますか?
PWR LEDが点灯していない場合は、ACアダプタのDCプラグやACプラグが正しく接続されているかどうか確認してください。
なお、本製品には、電源スイッチはついていません。

LNK/Rcv LEDは点灯していますか?
LNK/Rcv LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。
点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器が通信可能な状態になっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。
- 本製品のMDI/MDI-X切替スイッチが正しく設定されているか確認してください。
カスケード接続している場合、一方のハブのポートは「MDI」に、もう一方のハブのポートは「MDI-X」に設定しなければなりません。
本製品の最終ポート(ポート5/9)をカスケード接続ではなく、パソコンなどを接続するために使用している場合は、「MDI-X」に設定します。

● コネクタの仕様

10BASE-Tネットワークポートは、RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックを使用しており、以下のような結線になっています。

(1) RD+	受信データ(+)	1	12345678
(2) RD-	受信データ(-)	2	
(3) TD+	送信データ(+)	3	
(4) --	未使用	4	
(5) --	未使用	5	
(6) TD-	送信データ(-)	6	
(7) --	未使用	7	
(8) --	未使用	8	

● 推奨ケーブル

以下のような結線(ストレート)のカテゴリ3以上のUTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。

PC(MDI)		HUB(MDI-X)
TD +	1 ----->	1 RD +
TD -	2 ----->	2 RD -
RD +	3 <-----	3 TD +
未使用	4	4 未使用
未使用	5	5 未使用
RD -	6 <-----	6 TD -
未使用	7	7 未使用
未使用	8	8 未使用

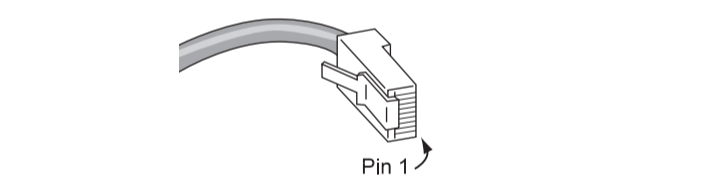


図7 RJ-45モジュラープラグ

● 製品仕様

サポート規格
IEEE802.3のリピータ規格に適合
IEEE802.3の10BASE-Tの規格に適合

電源部

定格入力電圧	: AC100V
入力電圧範囲	: 90 ~ 110V
定格周波数	: 50/60Hz
入力電流	: RH505E 0.22A(最大) RH509E 0.22A(最大)
消費電力	: RH505E 1.8W(平均) RH509E 2.9W(平均)
発熱量	: RH505E 1.6kcal/h(平均) RH509E 2.5kcal/h(平均)

環境条件

保管温度	: -20 ~ 60
動作温度	: 0 ~ 40
保管湿度	: 95%以下(ただし、結露なきこと)
動作湿度	: 80%以下(ただし、結露なきこと)

外形寸法(突起部を含まず)

RH505E	: 99(W) x 54(D) x 21(H) mm
RH509E	: 158(W) x 54(D) x 21(H) mm

重量(ACアダプタを含まず)

RH505E	: 170g
RH509E	: 250g

取得承認

EMI	: VCCI クラスA
-----	-------------

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報処理装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

調査依頼書 (CentreCOM RH505E/RH509E)

年 月 日

● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも速やかに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

Tel: 0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24時間受け付け

● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

● 使用しているハードウェアについて

・製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)  S/N 000770000002346 Rev AA

● お問い合わせ内容について

・どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。
・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成について

・ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
・他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

● ご注意

・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、すべての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©1998 アライドテレシス株式会社

● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

● マニュアルバージョン

1997年11月 Ver 1.0 pl(Rev.A) 初版
1998年12月 Rev.B 仕様変更

一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先:

購入年月日:

購入先担当者:

連絡先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM RH505E・RH509E(どちらかを で囲んでください。)



2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。
守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない

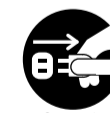
ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。
内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



禁止

ACアダプタのコードを傷つけない

ACアダプタのコードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。



プラグを抜く

設置や移動のときは電源プラグを抜く

本製品を設置、および移動を行う場合は、接続されている機器の電源スイッチを切り、ACアダプタをはずしてから行ってください。
ACアダプタのコードが傷つき、火災や、感電の原因となったり、機器の落下などによりケガの原因となることがあります。



感電注意

雷発生時には装置にさわらない

雷発生時には、本体、および電源コード、接続ケーブルなどにさわらないでください。雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



禁止

不適切な場所に設置や保管をしない

次のような場所に設置や保管をしないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
・直射日光の当たる場所
・高温、多湿の場所
・火気のある場所
・ほこりが多い場所
・振動が激しい場所
・腐食性のガスが発生する場所



指示

本体ボディのお手入れ

本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



禁止

指定の電源電圧以外を使用しない

電源プラグは、AC100Vのコンセント以外には差し込まないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
他の装置と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。



指示

通気口をふさがないように設置する

本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 0～40% 湿度 80%以下(ただし、結露なきこと)